

**「稲城市安全・安心まちづくり推進協議会」における
令和5年活動報告及び令和6年の活動について**

総務部総務契約課

<令和5年 活動報告について>

1. 安全・安心まちづくり推進協議会

⇒開催 3回（2月、6月、11月）

2. 市内一斉防犯パトロール

		7月	12月
実施日		令和5年7月19日（水）	令和5年12月20日（水）
参加者数		797人	800人
団体数（延べ）		146団体	154団体
配布	可燃ごみ袋	23枚	10枚
	不燃ごみ袋	20枚	10枚

3. 各団体による日々の活動

各団体により、延べ732回、延べ3,756人の防犯パトロール活動が実施。

4. 特殊詐欺被害防止に係る広報等

○市広報やメール配信サービスによる注意喚起のほか、後期高齢者医療制度（75歳以上）の健診案内にチラシを同封し、注意喚起を図った。

○民生・児童委員へのチラシ配布の協力依頼。

○市役所1階ロビー行政情報モニターでの放映。

○「iのまち いなぎ市民まつり」に行政テントを出店し、自動通話録音機の出張受付を実施。

5. 共催及び後援事業

○「稲城市防犯のつどい」（令和5年2月16日）

⇒中央文化センターホールにて、プロの劇団による特殊詐欺被害防止公演（寸劇）と、警視庁多摩中央警察署生活安全課長による防犯講話を実施。

○「駅伝防犯パトロール」（令和5年5月7日）

⇒ 多摩稲城防犯協会稲城支部に対する後援事業であるが、荒天により中止。

令和4年と令和5年の市内犯罪発生状況の比較

1 包括犯罪別（1月～12月）

犯罪名・年 地区	凶悪犯		窃盗犯		粗暴犯		知能犯		風俗犯		その他		合計		割合(%)		人口比(件)	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
矢野口	0	0	31	54	5	4	2	3	2	1	13	12	53	74	20.7	26.1	3.01	4.15
東長沼	2	0	26	37	4	1	4	5	0	0	9	11	45	54	17.6	19.0	3.02	3.59
大丸	0	0	25	25	4	1	3	3	0	0	6	12	38	41	14.8	14.4	3.99	4.3
百村	0	0	9	5	1	1	0	2	0	0	3	2	13	10	5.1	3.5	2.41	1.87
坂浜	0	0	5	10	1	2	0	0	0	1	0	1	6	14	2.3	5.0	1.59	3.57
平尾	0	0	13	19	2	3	2	4	1	0	2	5	20	31	7.8	10.9	1.63	2.53
押立	0	0	15	6	0	2	1	1	0	0	0	1	16	10	6.3	3.5	3.25	2.01
向陽台	0	0	8	14	0	0	0	0	0	0	0	1	8	15	3.1	5.3	0.92	1.73
長峰	1	0	6	6	0	2	1	2	0	0	4	2	12	12	4.7	4.2	2.64	2.69
若葉台	1	0	35	19	1	0	2	2	0	1	6	1	45	23	17.6	8.1	3.89	1.99
合計	4	0	173	195	18	16	15	22	3	3	43	48	256	284	100.0	100.0	-	-



※人口比は1,000人当たりの認知件数

2 窃盗犯の手口別内訳（1月～12月）

手口・年 地区	自動車盗		侵入窃盗		オートバイ盗		自転車盗		その他窃盗		合計		割合(%)	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
矢野口	0	0	1	2	0	5	16	20	14	27	31	54	17.9	27.7
東長沼	0	0	6	3	0	2	10	17	10	15	26	37	15.0	19.0
大丸	0	0	0	3	3	3	8	8	14	11	25	25	14.5	12.8
百村	0	0	0	0	0	0	2	2	7	3	9	5	5.2	2.6
坂浜	0	0	1	0	0	0	2	1	2	9	5	10	2.9	5.1
平尾	0	0	0	3	1	3	4	4	8	9	13	19	7.5	9.7
押立	0	0	0	2	0	0	2	2	13	2	15	6	8.7	3.1
向陽台	0	0	0	0	1	0	3	9	4	5	8	14	4.6	7.2
長峰	0	0	0	0	1	0	3	3	2	3	6	6	3.5	3.1
若葉台	1	0	2	0	0	0	13	7	19	12	35	19	20.2	9.7
合計	1	0	10	13	6	13	63	73	93	96	173	195	100.0	100.0

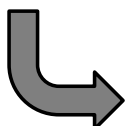


3 特殊詐欺の被害状況（1月～12月）

	件数(件)	被害額(円)
R4	6	7,770,000
R5	10	12,390,000

<令和5年 活動目標>

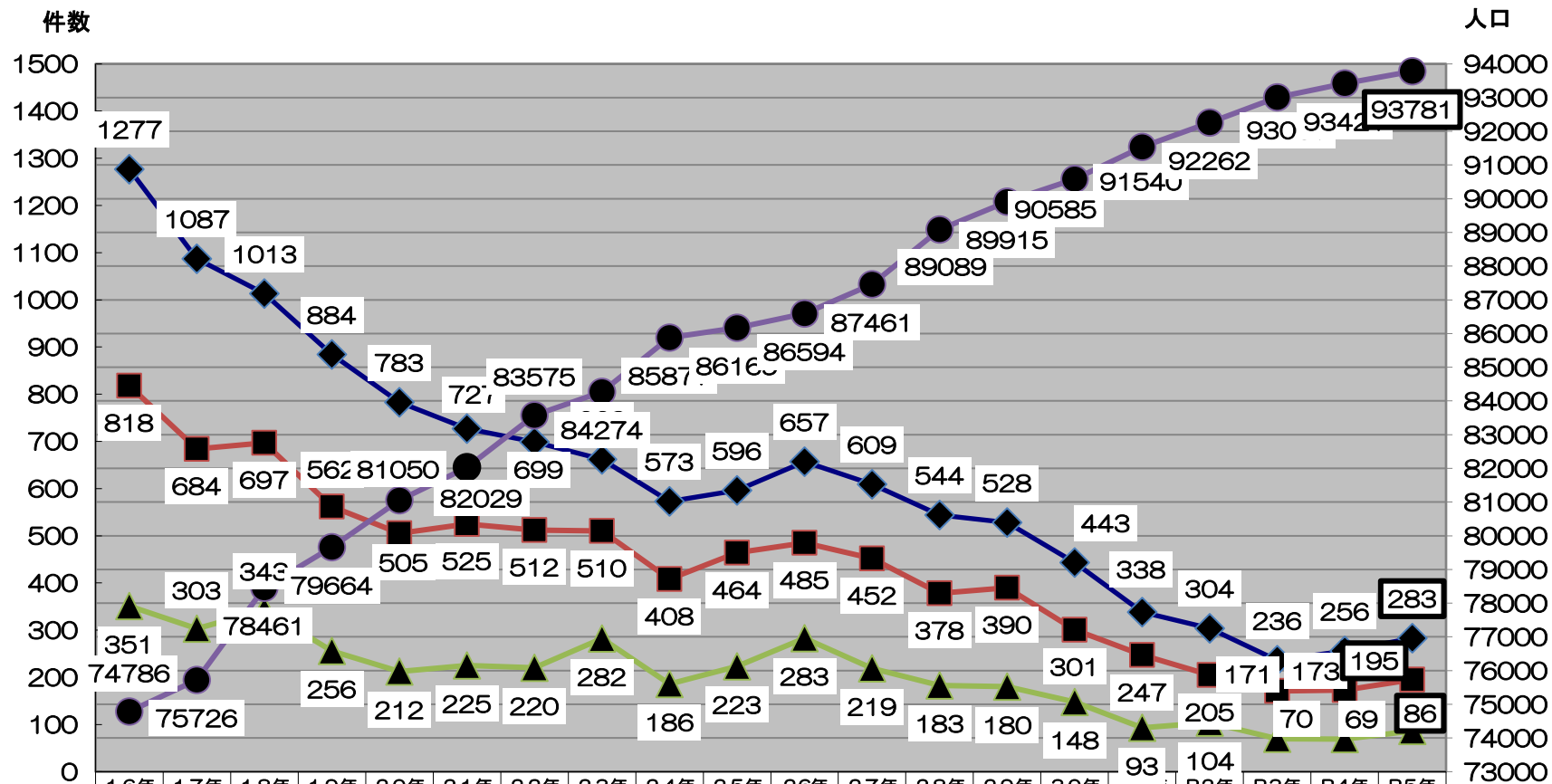
『①刑法犯認知件数アンダー250、②自転車盗を10%削減する、③特殊詐欺被害をゼロにする』



【数値結果】

- ①刑法犯認知件数 284件（達成状況：×）
- ②自転車盗 73件※前年比15.9%増（達成状況：×）
- ③特殊詐欺被害 10件／1,239万円（達成状況：×）

平成16年からの犯罪認知状況推移



◆刑法犯認知件数	1277	1087	1013	884	783	727	699	662	573	596	657	609	544	528	443	338	304	236	256	283
■窃盗犯認知件数	818	684	697	562	505	525	512	510	408	464	485	452	378	390	301	247	205	171	173	195
▲自転車・オートバイ盗認知件数	351	303	343	256	212	225	220	282	186	223	283	219	183	180	148	93	104	70	69	86
●1月1日時点人口	74786	75726	78461	79664	81050	82029	83575	84274	85877	86169	86594	87461	89089	89915	90585	91540	92262	93007	93421	93781

※平成17年に安全・安心まちづくり推進協議会発足

全国・東京都との刑法犯認知件数比較

(1) 全国

	刑法犯認知件数 (年間)	人口 (1月1日時点)	1,000人当たり刑法犯認知件数
平成16年	2,562,767	126,824,166	20.21
令和4年	601,389	124,770,000	4.82
令和5年	703,351	124,090,000	5.67

(2) 東京都

	刑法犯認知件数 (年間)	人口 (1月1日時点)	1,000人当たり刑法犯認知件数
平成16年	283,326	12,074,598	23.46
令和4年	78,480	14,034,861	5.59
令和5年	89,101	14,105,098	6.32

(3) 稲城市

	刑法犯認知件数 (年間)	人口 (1月1日時点)	1,000人当たり刑法犯認知件数
平成16年	1,277	73,520	17.37
令和4年	256	93,421	2.74
令和5年	284	93,781	3.03

令和5年 都内刑法犯認知件数比較

※件数:令和5年12月末時点

刑法犯認知件数 比較		
順位	自治体名	件数
1	稲城市	284
2	狛江市	316
3	羽村市	334
4	国立市	358
5	清瀬市	384
6	武蔵村山市	409
7	あきる野市	422
8	福生市	440
9	東大和市	471
10	小金井市	568
11	国分寺市	594
12	東久留米市	605
13	青梅市	620
14	多摩市	674
15	日野市	729
16	昭島市	771
17	東村山市	832
18	三鷹市	841
19	西東京市	932
20	府中市	1,002
21	小平市	1,022
22	調布市	1,097
23	文京区	1,104
24	武蔵野市	1,265
25	荒川区	1,326
26	目黒区	1,346
27	立川市	1,615
28	中央区	1,828
29	中野区	1,976
30	北区	2,052
31	墨田区	2,137
32	品川区	2,146
33	千代田区	2,376
34	町田市	2,396
35	杉並区	2,519
36	台東区	2,805
37	葛飾区	2,853
38	板橋区	2,916
39	港区	2,980
40	八王子市	3,197
41	江東区	3,254
42	渋谷区	3,388
43	豊島区	3,405
44	練馬区	3,480
45	大田区	3,851
46	世田谷区	4,084
47	足立区	4,222
48	江戸川区	4,289
49	新宿区	5,537

1,000人当たり刑法犯認知件数 比較			
順位	自治体名	件数	人口
1	稲城市	3.03	93,781
2	狛江市	3.78	83,514
3	府中市	3.82	262,544
3	日野市	3.82	190,937
5	杉並区	4.27	589,242
6	三鷹市	4.31	195,288
7	世田谷区	4.35	939,548
8	小金井市	4.46	127,261
9	西東京市	4.49	207,380
10	文京区	4.50	245,469
10	調布市	4.50	243,752
12	国分寺市	4.51	131,572
13	多摩市	4.61	146,121
14	練馬区	4.62	753,257
15	国立市	4.68	76,516
16	目黒区	4.71	285,526
17	青梅市	4.74	130,712
18	板橋区	4.97	586,459
19	清瀬市	5.05	75,981
20	品川区	5.07	423,239
21	小平市	5.10	200,532
22	大田区	5.17	745,243
23	東久留米市	5.27	114,822
24	あきる野市	5.37	78,513
25	東村山市	5.47	152,088
26	八王子市	5.53	578,175
27	町田市	5.54	432,259
28	東大和市	5.63	83,681
29	中野区	5.69	347,203
30	北区	5.71	359,348
31	武蔵村山市	5.85	69,859
32	荒川区	6.02	220,313
33	江東区	6.06	536,787
33	足立区	6.06	696,439
35	羽村市	6.19	53,959
36	江戸川区	6.21	690,867
37	葛飾区	6.26	455,785
38	昭島市	6.71	114,876
39	墨田区	7.61	280,989
40	福生市	7.86	55,959
41	武蔵野市	8.42	150,281
42	立川市	8.73	184,967
43	中央区	10.39	175,891
44	豊島区	11.13	306,059
45	港区	11.17	266,899
46	台東区	12.71	220,711
47	渋谷区	13.91	243,594
48	新宿区	15.64	354,032
49	千代田区	34.74	68,393

[参考] 令和4年 稲城市状況
 件数 : 256件 (1位)
 1,000人当たり件数 : 2.74件 (1位)

※町村を除く

【令和5年 稲城市における特殊詐欺等の被害状況】

件数	被害額
10件	12,390,000円

詐欺の概要と被害額〔1～12月〕

日付	地区名	詐欺の概要	被害額等
1月30日	矢野口 (詐欺盗)	警察官を騙る者から「あなたの夫名義の通帳を偽装した者がいる。」等との入電があった。その後自宅を警察官を騙る者が訪問し、被害者が目を離した際にキャッシュカードをすり替えられたもの。	200,000円
2月17日	矢野口 (預貯金)	市役所職員を騙る者から「医療費の還付金の手続きがまだで、今なら直接職員が自宅に何って手続きができる。」等との入電があった。その後、市役所職員を騙る者が自宅を訪問し、キャッシュカードや通帳を渡してしまったもの。	0円
2月21日	大丸 (預貯金)	百貨店の店員を騙る者から「あなたのカードが不正利用されている。これから警察官が伺う。」等との入電があった。その後、警察官を騙る者が自宅を訪問したが、被害者が犯人から目を離さなかったため、犯人はカード等を窃取できなかったもの。	0円
2月25日	大丸 (還付金)	市役所職員を騙る者から「医療費の還付金の手続きがある。ATMで手続きが出来る。」等との入電があった。その後、ATMに誘導され、電話の指示通りにATMを操作し、送金してしまったもの。	490,000円
3月8日	大丸 (詐欺盗)	警察官を騙る者から「詐欺事件で逮捕した犯人があなた名義の偽造カードを所持していた。既に現金が引き出されており、カードを預かりに伺う。」等との入電があった。その後自宅を訪問した警察官を騙る者に、キャッシュカードを渡してしまったもの。	1,500,000円
3月13日	平尾 (還付金)	市役所職員を騙る者から「医療費の還付金がある。ATMで手続きが出来る。」等との入電があった。その後、ATMに誘導され、電話の指示通りにATMを操作し、送金してしまったもの。	910,000円
5月8日	矢野口 (還付金)	市役所職員を騙る者から「医療費の還付金がある。ATMで手続きが出来る。」等との入電があった。その後、ATMに誘導され、電話の指示通りにATMを操作し、送金してしまったもの。	1,930,000円
11月8日	押立 (オレオレ)	病院の医師を騙る者から、「あなたの息子さんか外来診療を受けました。」等の入電があった。その後、医師を騙る者にお金を渡してしまったもの。	500,000円
11月16日	平尾 (金融)	LINEの「株式交流グループ」というトークルームから、投資の話を持ちかけられ、口座を開設するように指示され、現金を入金してしまったもの。	6,860,000円
11月17日	東長沼 (オレオレ)	息子を騙る者から「上司のカードが入っている財布をなくしてしまった」等の入電があった。その後、息子の上司を騙る者が訪問したが、現金を渡さずに未然に被害が防げたもの。	0円

※被害額の内訳については、1万円未満切捨てで記載

過去の被害状況〔1～12月〕

年	件数(件)	被害額(円)
平成25年	16	40,968,713
平成26年	11	27,907,760
平成27年	9	38,340,000
平成28年	9	23,602,000
平成29年	11	25,441,000
平成30年	19	41,860,000
平成31年	11	20,900,000
令和2年	7	14,380,000
令和3年	9	7,600,000
令和4年	6	7,770,000



令和5年 都内特殊詐欺被害件数比較

※件数: 令和5年12月末時点

被害件数 比較		
順位	自治体名	件数
1	稲城市	11
1	あきる野市	11
3	福生市	12
3	東久留米市	12
3	羽村市	12
6	千代田区	14
6	狛江市	14
8	中央区	17
9	青梅市	19
9	国立市	19
11	武蔵村山市	21
12	昭島市	23
12	小金井市	23
12	東大和市	23
15	国分寺市	26
16	清瀬市	28
17	多摩市	35
18	台東区	37
19	目黒区	38
20	港区	40
20	府中市	40
22	渋谷区	46
22	立川市	46
24	日野市	48
25	武蔵野市	49
26	調布市	52
27	新宿区	53
28	文京区	54
28	墨田区	54
28	西東京市	54
31	荒川区	55
31	三鷹市	55
33	東村山市	56
34	小平市	58
35	中野区	60
36	品川区	72
37	豊島区	74
38	北区	91
39	杉並区	106
40	葛飾区	109
41	江東区	113
42	八王子市	115
43	江戸川区	122
44	町田市	128
45	足立区	129
46	板橋区	137
47	大田区	151
48	練馬区	152
49	世田谷区	173

1,000人当たりの被害件数 比較			
順位	自治体名	件数	65歳以上人口
1	東久留米市	0.357	33,594
2	あきる野市	0.452	24,318
3	青梅市	0.457	41,547
4	稲城市	0.533	20,640
5	中央区	0.657	25,884
6	府中市	0.683	58,565
7	目黒区	0.688	55,231
8	狛江市	0.702	19,942
9	八王子市	0.738	155,773
10	昭島市	0.758	30,324
11	足立区	0.762	169,260
12	福生市	0.770	15,586
13	新宿区	0.793	66,853
14	多摩市	0.806	43,420
15	羽村市	0.817	14,683
16	台東区	0.827	44,754
17	江戸川区	0.830	146,900
18	小金井市	0.856	26,861
19	杉並区	0.880	120,435
20	港区	0.883	45,306
21	品川区	0.889	80,989
22	墨田区	0.903	59,824
23	国分寺市	0.914	28,455
24	大田区	0.919	164,372
24	世田谷区	0.919	188,167
26	練馬区	0.932	163,154
27	葛飾区	0.961	113,390
28	東大和市	0.977	23,548
29	立川市	0.998	46,096
29	調布市	0.998	52,084
31	江東区	1.002	112,757
32	日野市	1.031	46,564
33	国立市	1.032	18,407
34	板橋区	1.040	131,709
35	渋谷区	1.067	43,121
36	北区	1.073	84,773
37	西東京市	1.078	50,099
38	町田市	1.090	117,471
39	武蔵村山市	1.098	19,126
40	荒川区	1.120	49,129
41	千代田区	1.222	11,459
42	文京区	1.236	43,702
43	小平市	1.243	46,668
44	豊島区	1.307	56,608
45	三鷹市	1.311	41,967
46	清瀬市	1.348	20,776
47	東村山市	1.364	41,067
48	武蔵野市	1.469	33,346
49	中野区	2.104	28,519

[参考] 令和4年 稲城市状況
 件数 : 6件 (2位)
 1,000人当たり(65歳以上)件数 : 0.294件 (2位)

※町村を除く

4. 協議事項 「令和6年の活動について」

(1) 活動目標について

- ① 刑法犯認知件数アンダー250
- ② 市内一斉防犯パトロールの参加者数を10%増やす
- ③ 特殊詐欺被害額を前年比50%以下にする

①刑法犯認知件数アンダー250

平成16年に1,277件であった刑法犯認知件数は、平成24年には573件まで減少した。そこから、平成25年(596件)、平成26年(657件)と増加傾向に転じたが、平成27年(609件)以降、毎年減少傾向を維持し、令和3年においては236件と最少件数をさらに更新した。しかし、令和4年(256件)、令和5年(283件※速報値)と増加傾向に転じている。

社会活動制限が緩和され、犯罪の発生傾向・頻度もコロナ禍前の状況に戻りつつあると考えられることから、本年の活動目標としては、「刑法犯認知件数アンダー250」を継続目標としたい。

②市内一斉防犯パトロールの参加者数を10%増やす

当協議会主催で、年2回(夏休み前・年末)の特別警戒として「市内一斉防犯パトロール」を実施しているところであるが、コロナ禍での中止等の影響もあり、参加者の減少傾向にある。

人口、市内の刑法犯認知件数も増加傾向にある中で、「刑法犯認知件数アンダー250」達成のためにも、市民の更なる防犯意識醸成を図る必要があることから、まずは年2回の特別警戒である「市内一斉防犯パトロール」により多くの市民に参加してもらい、その数値目標として「前年比10%増」を掲げることとしたい。

③特殊詐欺被害額を前年比50%以下にする

市内における特殊詐欺被害について、令和5年では10件、約1,239万円と被害件数・被害額ともに前年比で増加した。市としても警視庁多摩中央警察署と協力して、自動通話録音機の給付や、防災行政無線・メール配信サービスによる注意喚起等を行っているものの、なかなか被害撲滅には至らない。

手法も年々巧妙化しており、未然防止(被害額0円)のケースも被害件数としてカウントされることを考慮し、まずは被害額を前年比50%以下に抑えることを目標としたい。

(2) 協議会の事業について

- * 年3回を基本に協議会を開催
- * 学校の夏休み前と年末に市内一斉防犯パトロールを実施
- * 「いなぎ市民まつり」等イベントでの啓発活動を実施
- * 駅伝防犯パトロールを実施（協力）
- * 講演会の開催